



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 前澤化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池嶋 勝治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 湯浅 茂 TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,166	7.0	1,296	1.2	1,541	4.0	880	2.7
25年3月期第3四半期	16,049	1.0	1,280	△6.8	1,482	△4.6	856	5.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,139百万円 (33.4%) 25年3月期第3四半期 853百万円 (45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	58.06	—
25年3月期第3四半期	56.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	42,496	35,309	83.1
25年3月期	41,891	34,549	82.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 35,309百万円 25年3月期 34,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
26年3月期	—	12.50	—		
26年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	10.7	1,750	12.4	1,950	8.1	1,050	△6.2	69.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	15,732,000 株	25年3月期	15,732,000 株
26年3月期3Q	570,729 株	25年3月期	570,609 株
26年3月期3Q	15,161,306 株	25年3月期3Q	15,161,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組換え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果により企業の業況感も改善を続けており、景気は緩やかに回復してまいりました。一方で、円安進行にともなう原材料価格の上昇や、海外景気の不確実性に対する不安等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する上水道・下水道業界および住宅機器関連業界におきましては、消費マインドの改善に加え、消費税増税前の駆け込みと思われる需要もあり、新設住宅着工戸数が堅調に推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、ビニマス、継手等汎用品のシェア維持、拡大を図りつつ、住環境改善製品等、高付加価値である販売重点製品の積極的な拡販に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高171億66百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益12億96百万円（同1.2%増）、経常利益15億41百万円（同4.0%増）、四半期純利益8億80百万円（同2.7%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①住環境改善製品分野

当分野では、消費マインドの改善に加え、消費税増税前の駆け込みと思われる需要もあり、新設住宅着工戸数が堅調に推移したため、ほぼ当初予想どおりの売上を確保することができました。

着工戸数に比例して需要が増加した「量水器ボックス」等に加え、「基礎貫通スリーブ」「雨水マス」など住宅周りの販売重点製品の売上が大きく伸びました。

その結果、売上高は155億35百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益11億78百万円（同4.6%減）となりました。

②環境・住設関連分野

当分野では、一部大口受注の回復もあり、売上高は17億19百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。また、引き続き経費削減を含めたコストダウンを追求いたしました結果、セグメント利益1億17百万円（同63.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ6億5百万円増加し、424億96百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金や、商品及び製品が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億54百万円減少し、71億87百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が増加したものの、未払法人税等や、賞与引当金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ7億59百万円増加し、353億9百万円となりました。これは主として、利益剰余金や、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,688	7,806
受取手形及び売掛金	8,290	8,936
有価証券	3,490	5,606
金銭の信託	501	501
商品及び製品	1,959	2,236
仕掛品	512	585
原材料及び貯蔵品	419	563
繰延税金資産	242	159
その他	484	498
貸倒引当金	△29	△28
流動資産合計	24,560	26,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,966	8,985
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,965	△5,140
建物及び構築物（純額）	4,001	3,845
機械装置及び運搬具	11,461	11,389
減価償却累計額	△10,259	△10,164
機械装置及び運搬具（純額）	1,202	1,225
工具、器具及び備品	17,112	17,126
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,634	△16,684
工具、器具及び備品（純額）	478	442
土地	4,408	4,410
建設仮勘定	—	81
有形固定資産合計	10,090	10,004
無形固定資産		
ソフトウェア	242	198
その他	15	15
無形固定資産合計	258	214
投資その他の資産		
投資有価証券	6,403	4,639
関係会社出資金	57	122
その他	684	813
貸倒引当金	△163	△165
投資その他の資産合計	6,982	5,411
固定資産合計	17,330	15,630
資産合計	41,891	42,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,432	3,498
短期借入金	550	550
未払法人税等	358	240
賞与引当金	391	193
役員賞与引当金	55	45
工事損失引当金	—	5
その他	1,922	1,875
流動負債合計	6,711	6,408
固定負債		
繰延税金負債	117	238
退職給付引当金	254	279
資産除去債務	186	188
その他	72	72
固定負債合計	630	779
負債合計	7,342	7,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	24,966	25,468
自己株式	△650	△650
株主資本合計	34,066	34,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	482	741
その他の包括利益累計額合計	482	741
純資産合計	34,549	35,309
負債純資産合計	41,891	42,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	16,049	17,166
売上原価	10,535	11,376
売上総利益	5,514	5,789
販売費及び一般管理費	4,233	4,493
営業利益	1,280	1,296
営業外収益		
受取利息	69	79
受取配当金	50	76
受取賃貸料	66	66
貸倒引当金戻入額	—	1
その他	35	39
営業外収益合計	222	263
営業外費用		
支払利息	2	2
賃貸費用	7	7
支払手数料	4	4
貸倒引当金繰入額	0	1
投資事業組合運用損	—	1
その他	5	0
営業外費用合計	19	17
経常利益	1,482	1,541
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	2	2
固定資産除却損	3	4
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	11	6
税金等調整前四半期純利益	1,471	1,537
法人税、住民税及び事業税	516	593
法人税等調整額	91	63
法人税等合計	607	657
少数株主損益調整前四半期純利益	864	880
少数株主利益	7	—
四半期純利益	856	880

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	864	880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	258
その他の包括利益合計	△10	258
四半期包括利益	853	1,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846	1,139
少数株主に係る四半期包括利益	7	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	住環境改善製品 分野	環境・住設関連 分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	14,453	1,596	16,049	—	16,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	98	98	△98	—
計	14,453	1,694	16,147	△98	16,049
セグメント利益	1,235	71	1,306	△26	1,280

(注) 1. セグメント利益の調整額△26百万円は、主にのれん償却額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	住環境改善製品 分野	環境・住設関連 分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	15,535	1,630	17,166	—	17,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	89	89	△89	—
計	15,535	1,719	17,255	△89	17,166
セグメント利益	1,178	117	1,295	0	1,296

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。